

デザインにも注目です

Rule>004 大容量で
オススメは?A. 大家族は
東芝

6人以上の大家族向けの大容量モデルは東芝がリード。真ん中野菜室やツイン冷却などで大きくても使いやすい

東芝
FWXシリーズ
実勢価格 ■ 30万4500円Rule>001 棚のレイアウト
にこだわりたいA. 日立なら
パズル
感覚です

「高さかわるん棚」



「高さかわるポケット」

下で紹介している日立の「HWシリーズ」は高さや配置をカスタマイズできる仕掛けが満載。慣れてくるとパズルのように効率よく、楽しく冷蔵庫のレイアウトを作ることができる。

Rule>003 省エネ重視で選びたい

A. 高機能化
と言いつつ
やっぱり
エコも 三菱

大型家電は高機能化が著しく、省エネを競う時代は終わったが、同じくらいの容量の各メーカーの冷蔵庫の消費電力を比較すると三菱が僅差で省エネ王者に

現行機種の年間消費電力を比較

MR-MX50D	250kw
R-HW60J	259kw
MR-RX46C	264kw
NR-F554WPX	274kw
SJ-GT50D	275kw
NR-JD5103V	315kw
NR-FV45S3	390kw
SJ-F462D	420kw

Rule>002 見た目にこだわりたい

A. 「ガラスすぎる」と
悪目立ち注意

オープンキッチンが主流となり、冷蔵庫もデザイン性が強化。ガラストップの製品も増えたが、シルバータイプの「いわゆるガラス」な製品は何でもかんでも写り込むので結構神経質になる。

オススメは
「グラデ」

三菱などはシックなカラーでグラデーションになっているガラスを採用

Rule>005 野菜室をたっぷり
使いたい!A. 今なら断然
日立か
三菱鮮度を保つ
技術がふんだんに家電
批評

2018年8月号

BEST BUY

冷蔵庫
ベストバイ家電
批評

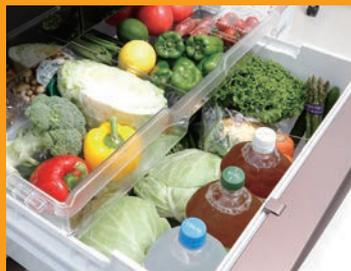
2018年8月号

BEST BUY

冷蔵庫
ベストバイ

野菜室の高機能化が最新冷蔵庫のトレンドに

省エネや設計の面でハードルが高かった「真ん中野菜室」を三菱が最新モデルで復活。一方で日立は新鮮スリーブ野菜室や湿度コントロールなど、徹底した管理能力で鮮度を保つ。この2メーカーは本体幅に対する容量スペックも非常に優秀で、あとは付加機能で好みを選んでほしい。

真ん中野菜室は
目の前に立つと実感三菱電機
MR-MX50D
実勢価格 ■ 32万6100円

小さい野菜などが取り出しやすい構造。目の前に立つと、屈まなくていい真ん中野菜室のありがたみを実感

野菜を「眠らせる」とし、7日間鮮度を保つとうたっているのがポイント。大容量で買いだめにも優しい

日立
R-HW52J
実勢価格 ■ 26万3400円